

学会の委員会について

鹿島晴雄 日本精神神経学会副理事長
Haruo Kashima

本学会の活動は精神医療から精神医学にわたるきわめて広い範囲に及んでいる。精神医療、精神医学は、社会の様々な面に関与し、またすぐれて学際的であり、多面的な活動がより求められているといえる。多くの委員会が組織され活発に活動しており、また医療や医学の要請により今後も、常設の委員会やアド・ホックの委員会が設置されていくと思われる。きめ細かに多様な問題に対応するため、様々な委員会が設置され、それぞれ活動することは必要であり当然であるが、また同時に精神医療・精神医学という大きな枠の中で委員会相互の連携もますます必要になってきている。本理事会では委員会間の横の連携を強めるために部会制を設け、関連する委員会を7つの部会にまとめることとなった。7つの部会と委員会は下記のとおりである。委員会の名称変更や新設、改組などは今後も行われていくと考えられ、以下は昨年末の時点のものである。

I. 教育・学術部会 (部会長：鹿島晴雄)

教育委員会 (児童精神科医育成に関する小委員会)、精神疾患ガイドライン委員会、精神科用語検討委員会、精神神経学雑誌編集委員会 (英文雑誌作業小委員会)、「精神医学・医療奨励賞」選考委員会

II. 精神科専門医関連部会 (部会長：鹿島晴雄)

専門医制度委員会・常任委員会、資格・研修施設認定委員会、試験委員会、生涯教育委員会、地区部会長委員会、評価・点検委員会

III. 精神保健・医療・福祉関連部会 (部会長：三國雅彦)

精神保健・医療・福祉システム検討委員会 (精神医療のあり方に関する小委員会、精神障害者の地域医療とリハビリテーションに関する小委員会)、メンタルヘルスに関する委員会、診療報酬問題委員会

IV. 法・倫理問題関連部会 (部会長：中島豊爾)

法・倫理問題関連委員会、アンチスティグマ委員会、性同一性障害に関する委員会

V. 国際関連部会 (部会長：岡崎祐士)

国際委員会、ICD-11委員会

VI. 庶務関連部会 (部会長：佐藤忠彦)

精神科の将来と精神科医の育成を検討する委員会、広報委員会、学会諸規則検討委員会、学会のあり方に関する検討委員会、心理技術者の国家資格化に関する委員会、学会出版局、評議員選挙管理委員会

VII. その他

各種委員会活動評価委員会 (委員長：山口成良)

各部会は連絡調整機関ともいうべきもので、各部会の状況によりその活動はさまざまになされている。私は、教育・学術部会を担当させていただいている。各委員会の活動は担当の理事の方々より報告、紹介されるが、部会としては例えば、用語の問題はガイドラインと密接に関連があり、ガイドラインは教育委員会と専門医制度委員会が扱う教育カリキュラムや研修指針と直接に関係している。また部会間の連携も重要であり、例えば精神疾患ガイドライン委員会は、ガイドラインの策定だけでなく、随時の改訂や発表した後のさまざまな意見や問題に対する対応も重要な使命であり、学会の渉外活動との連携が必要となる。またこれらの各種委員会の活動は、各種委員会活動評価委員会により、毎年評価を受け勧告、指導を受けている。

以上、学会の委員会の体制の概略を紹介させていただいた。

委員会活動についてのご意見、ご批判を自由にお寄せいただければと存じます。